

3 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

Plan ▶ 2012年度 基本方針

- 地域事情・特性に応じた地域社会への貢献、活性化のための取組みを、地域のみならずと共に進めていきます。
- 従業員一人ひとりの社会貢献意欲を高められるよう、引き続き情報発信をおこなっていきます。

Do ▶

地域の活性化に向けた取組み

お客さまや社会のみならずからのエネルギーに関するニーズが多様化するなか、当社はこうしたニーズにしっかりと耳を傾け、地域のみならずのよきパートナーとして、「共に考え、共に未来を創る」、地域活性化に向けた取組みを進めています。

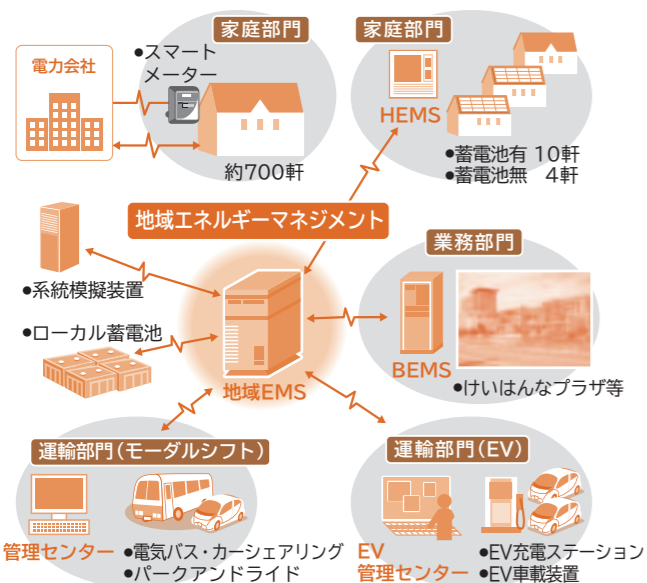
スマートコミュニティ構想などにかかる活動

当社は、お客さまと社会の新たな期待に応えるため、自治体などの地域のみならずが進めるスマートコミュニティづくりの取組みに協力し、電気事業者として蓄積してきた知見を活かし、構想の具体化に向けたさまざまな取組みをおこなっています。

具体的には、京都府けいはんな学研都市における「けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」に参画しているほか、経済産業省の「スマートコミュニティ構想普及支援事業」などの推進に積極的に協力しています。

■スマートコミュニティに関する取組み事例

けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト



大阪都心部のまちづくり活動

当社は、大阪都心部などのまちづくりに、ハードとソフトの両面から貢献しています。その一つが、当社本店がある大阪・中之島での活動です。

この中之島のさらなる発展や活性化をめざし、2004年に設立されたのが、当社が事務局を務める「中之島まちみらい協議会」です。現在、同協議会では、2012年に策定した「中之島まちづくり構想」のもと、地区内の地権者企業など29社（2013年3月末現在）が、その実現に向けた取組みを進めているほか、エリア防災に関する勉強会や講演会を実施するなど、さまざまなかたちでまちづくり活動に取り組んでいます。



中之島の概観

企業立地の支援活動

地域の活性化と持続的発展のお役に立ちたいとの思いから、当社は自治体や経済団体と連携し、関西への立地を希望されるお客さまのサポートをおこなっています。具体的には、設備投資を検討されている全国の企業に対して、地域情報誌『Community Information』で関西の自治体の優遇制度や産業団地の情報、関西地域での立地の利点などをご紹介したり、企業への訪問活動を通じ、関西エリアに関心をお持ちの企業を、自治体へ橋渡しする活動を続けています。

当社はグループの総力を挙げ、関西地域の成長と活性化への貢献に努めています。

地域社会の一員としての取組み

当社は、地域に根ざした企業として、お客さまや地域社会のお役に立ちたいという思いを持ち、地域社会への貢献活動に取り組んでいます。お客さまや地域社会から当社が期待される役割は、地域によってさまざまですが、種々のニーズに耳を傾け、地域社会の一員として、地域のみならずと共に取り組んでいます。

文化財・社会福祉施設などの電気設備を点検

地域の消防署などと連携し、寺院など文化財の防火につなげたいと、電気設備点検を実施しています。漏電や電気配線の異常について調査し、お客さまの設備に合わせた電気の安全な使い方をお知らせしています。こうした取組みは、一人暮らしの高齢者のお宅や社会福祉施設でもおこなっています。



須佐神社（和歌山県有田市）の電気設備点検



高齢者宅の電気設備点検

地域と連携した清掃活動

地域のみならずの活動のほか、社内の取組みである6月の「関西電力グループ環境月間」や11月の「お客さま感謝月間」を中心に、事業所周辺や観光地、海岸や河川などの清掃活動をおこなっています。



姫路城の照明器具の清掃



琵琶湖湖岸の清掃

地域の伝統文化保護・行事への協力

地域に根ざす伝統文化や地域行事にさまざまなかたちで協力し、地域の発展や活性化のためにお役に立ちたいと取り組んでいます。例えば、関西電力奈良支店では、奈良マラソンに従業員がボランティアとして参加しています。



奈良マラソンでボランティアに参加



葵祭で行列に参加

障がい者のアート公募展「コラボ・アート21」

障がいのある方々にアート創造を通じて自己を表現する喜びを感じていただき、また、作品をご覧いただく方々にその魅力や作者の可能性を感じていただける機会づくりを目的に、2001年から「コラボ・アート21」を開催しています。毎年、多数のご応募をいただき、これまでに1万点以上の作品が寄せられています。なお、入選作品は展示会やホームページなどを通じて発表しています。

展示会で入選記念品を発表（障害者週間協賛行事の一環として）



社会貢献活動に励む従業員を支援

従業員の自発的な活動を支援するため、ボランティア休暇制度などの利用を推奨しています。また、ボランティア活動に関する情報や取組み事例などを社内報などで紹介しています。

〈具体的な支援制度と実績〉

ボランティア休暇	
取得実績（2012年度）	97件 240.5日

従業員が休暇を取得して、一定の条件を満たす社会奉仕活動をおこなった場合、年間限度日数の範囲内でその1/2ないし全部を特別休暇として認める制度。

ボランティア休職	
認定実績	1992～2012年度で16名が取得

勤続5年以上の従業員が公的福祉機関で社会奉仕活動を長期にわたり継続しておこなう場合に、原則として1年以内の休職を認める制度。ただし、青年海外協力隊としての休職期間は2年6ヵ月。

Voice

ボランティア休職制度を活用し、青年海外協力隊に参加

2011年1月から約2年間、タンザニア連合共和国の職業訓練所で電気設備・屋内配線の技術指導を中心としたボランティア活動に従事しました。現地では、言葉の壁や文化の違いに戸惑うこともありましたが、生徒に知識だけでなく技術も伝えたいと、当社での業務や研修で培った経験をもとに、同訓練所で初めてとなる現場実習をおこなうなど、試行錯誤を重ねながら取り組みました。「なんとかなる」と幾多の困難を乗り越えた経験は、かけがえのないものとなることを実感したので、今後も挑戦を続け、社会に貢献していきたいと考えています。

阪神営業所
阪神ネットワーク技術センター
青田 江里子



Check ▶▶ 取組みへの評価

2012年度 基本方針

- 地域事情・特性に応じた地域社会への貢献、活性化のための取組みを、地域のみなさまと共に進めていきます。

取組みが向上した点/今後の課題

■ 地域のみなさまと密にコミュニケーションをとれる体制を整備

当社は、2012年4月に新たに地域エネルギー部門を設置し、地域のみなさまとのコミュニケーションをより密にし、地域のみなさまからの多岐にわたるご意見やご要望に対し、より積極的にお応えできる体制を整備しました。

■ 地域のみなさまと連携し、地域の活性化に向けた取組みを推進

さまざまな地域ですめられている再生可能エネルギーの開発や、スマートコミュニティ・まちづくり案件の具体化に、より一層積極的に関与してきました。今後も、これまで蓄積してきた知見を提供することなどを通じて、自治体をはじめとする地域のみなさまと共に構想の具体化にさらに取り組んでいきます。

■ 地域社会の一員としての取組みを推進

当社は、地域社会のお役に立ちたいとの思いから、地域社会への貢献活動に取り組んできました。引き続き、地域のみなさまからのニーズに耳を傾け、地域のみなさまと共に取組みを進めていきます。

- 従業員一人ひとりの社会貢献意欲を高められるよう、引き続き情報発信をおこなっていきます。

■ 社会貢献意欲を高めるための情報発信

社内報などを活用し、ボランティア活動に関する情報のほか、当社の貢献活動の情報や事例を、適宜、従業員に向けて発信してきました。今後も、従業員一人ひとりの社会貢献意欲を高められるよう、情報発信をおこなっていきます。

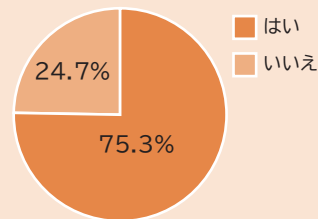
地域社会への貢献活動に関していただいた主なご意見

- 清掃活動や地域行事に積極的に参加してくれてありがたい。
- 電気設備点検のおかげで、一層安心して電気を使うことができる。
- 「コラボ・アート21」は、障がいのある方々の活躍の場を広げるよい取組みだと思った。

CSRに関する全従業員へのアンケート結果 (2012年11月実施)

約8割の従業員が地域社会への貢献活動に積極的であることを確認しました。

- Q.あなたは、今後、興味のあるボランティア活動があれば、参加したいと思いませんか。



Action ▶▶ 2013年度以降の方針



関西電力株式会社
総合企画本部 副本部長
地域エネルギー部門統括
松村 孝夫

当社グループは、地域に根ざした事業者であり、地域のみなさまのよきパートナーとして、地域社会の活性化と発展につながる取組みを進めてきました。

今後も、地域のみなさまとの信頼関係を構築したうえで、多様なニーズにしっかりと耳を傾け、これまで蓄積してきたさまざまな知見などを活かし、再生可能エネルギーの開発や、スマートコミュニティ、まちづくり案件など、地域

のみなさまと「共に考え、共に未来を創る」取組みを積極的に推進していきたいと考えています。

また、地域貢献活動についても、地域社会の状況に心を配りながら、地域のみなさまからのご期待にお応えするために、当社グループがすべきこと、できることをよく考え、地域社会の一員として地道に取り組んでまいります。